

伊賀地域におけるビール麦の選定及び栽培法

[要約]伊賀地域においてビール麦「あまぎ二条」は、播種を11月7～21日、播種量を200粒/m²とし、基肥量は窒素成分で0.7～0.9kg/a、追肥は幼穂形成期と減数分裂期に窒素成分で各0.2kg/a施すことで収量・品質とも高まる。またビール麦の品種は「ミハルゴールド」が収量・品質面からみて有望であった。

三重県農業技術センター 伊賀農業センター

連絡先

0595-37-0211

部会名	水田・畑作物	専門	栽培	対象	麦類	分類	普及
-----	--------	----	----	----	----	----	----

[背景・ねらい]

伊賀地域の農業法人では、平成7年から地ビール生産に取り組むとともに、原料となるビール麦の生産を地元農家に委託している。しかし、伊賀地域では転作田での栽培となるとともに、これまでビール麦の栽培経験は全くなく、品種、栽培法が不明であった。そこで、現在栽培されている「あまぎ二条」の栽培法を確立するとともに、ビール麦の主産地で栽培されている主要な品種及び有望な育成品種の中から伊賀地域に適した品種を選定する。

[成果の内容・特徴]

- 「あまぎ二条」の播種は、出穂期の凍霜害を避けるため11月7日以降に、また時期は遅いほど品質は高まるが、低温による苗立率の低下を防ぐため11月21日までに行う(表2)。播種量は200粒/m²(0.85kg/a)が適当である。
- 「あまぎ二条」の施肥は、基肥を窒素成分で0.7～0.9kg/a、追肥を幼穂形成期と減数分裂期に窒素成分で各0.2kg/a施用するのが、上麦重、千粒重に対して効果が高い、また幼穂形成期の追肥量を増やすことも有効である(図1)。
- ビール麦の品種は、収量・品質面から「ミハルゴールド」が適している(表1)。
- 「ミハルゴールド」の播種適期は11月7～21日、適播種量は200粒/m²(0.93kg/a)である(表2)。

[成果の活用面・留意点]

- 湿害を発生させないように適正なほ場管理を行う。

表1 品種試験成績(過去3カ年平均)

品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	稈重	上麦重	対標準	千粒重	容積重	外観	麦芽
	月日	月日	cm	cm	本/m ²	kg/a	kg/a	比%	g	g/粒	品質	総合評点
タカホゴールド	4.24	5.28	91	5.3	754	48.8	30.4	113	44.8	711	3.3	44.3
ミカモゴールド	4.27	6.2	89	5.0	927	49.2	24.9	95	42.6	689	3.5	42.2
ミサトゴールド	4.25	5.29	92	5.4	732	49.1	29.3	104	44.9	690	3.3	19.9
ニンノゴールド	4.28	6.3	89	5.0	942	54.1	28.0	112	40.5	681	3.5	39.3
関東二条31号	4.20	5.20	77	5.9	579	35.4	23.9	89	43.6	691	4.0	-
アサカゴールド	4.25	5.29	84	5.9	750	49.3	29.3	110	42.6	707	3.2	43.2
ミハルゴールド	4.27	6.3	80	5.2	814	42.1	37.8	143	46.4	682	2.6	61.8
九州二条12号	4.23	5.28	85	5.4	810	46.0	30.9	121	41.8	689	3.3	61.3
九州二条14号	4.22	5.25	82	5.3	491	30.3	27.4	102	46.8	689	3.3	-
(比)あまぎ二条	4.25	5.30	86	5.7	811	47.2	29.1	100	42.6	692	3.5	39.6

注1) 外観品質は1:上の上～6:下の6段階評価

注2) 麦芽品質については栃木農試・栃木分場で分析

表2 ミハルゴールド、あまぎ二条における播種時期・播種量の違いが生育・収量に及ぼす影響(平成9年度)

播種日 月日	品種	播種量	苗立率	出穂期	成熟期	穂長	穂長	穂数	上麦重	千粒重	粒歩	外観
		粒/m ²	%	月日	月日	cm	cm	本/m ²	kg/a	g	合%	品質
11.07	ミハルゴールド	100	71.7	4.22	5.27	73	5.6	594	41.1	47.9	80.1	3.4
		200	71.0	4.21	5.26	75	5.2	870	54.1	45.9	81.8	3.1
		300	74.2	4.21	5.23	79	5.1	890	62.6	46.0	79.6	3.3
11.15	あまぎ二条	200	70.7	4.17	5.20	68	5.8	720	32.8	41.3	71.2	4.0
		100	78.3	4.28	5.31	74	6.1	502	35.0	52.6	84.2	3.1
		200	86.1	4.27	5.29	74	5.8	660	46.6	50.2	83.9	2.9
11.21	あまぎ二条	300	75.7	4.25	5.27	65	5.2	662	38.9	47.9	81.5	3.2
		200	71.3	4.23	5.28	74	6.1	582	35.5	44.7	79.8	2.9
		100	88.3	4.30	6.2	71	6.6	495	43.0	53.4	84.0	2.9
11.29	あまぎ二条	200	75.4	4.28	5.31	67	5.7	749	50.3	51.5	83.8	2.7
		300	65.0	4.27	5.30	73	6.5	584	40.6	45.5	84.3	2.6
		100	58.5	5.2	6.3	73	6.6	406	34.8	54.8	85.5	2.3
あまぎ二条	200	52.2	5.2	6.3	69	6.4	552	50.7	53.8	78.9	2.8	
	300	48.5	5.1	6.3	73	6.0	598	41.1	52.7	83.0	2.5	
	200	39.9	4.28	6.1	73	6.4	438	36.0	44.5	84.3	2.0	

注) 外観品質は1:上の上～6:下の6段階評価

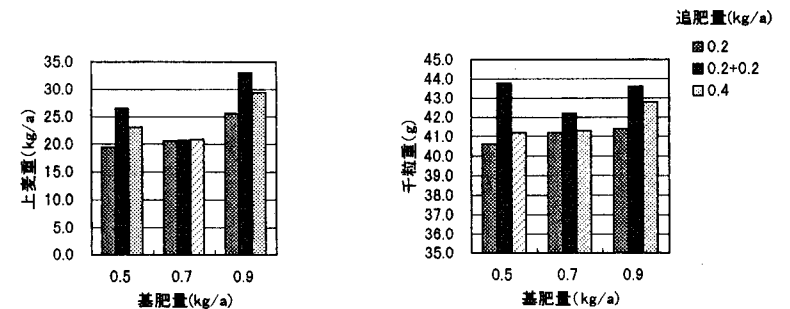


図1 あまぎ二条における施肥法の違いが上麦重・千粒重に及ぼす影響(平成9年度)

[その他]

研究課題名: 地域特産品「地ビール」生産のためのビール麦高品質栽培技術の確立
 予算区分: 麦主産地形成特別事業
 研究期間: 平成9年度(平成7～9年度)
 研究担当者: 中山幸則、安田典夫、児玉幸弘、森本順一
 発表論文等: なし